

令和6年度事業報告

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

I. 概 況

令和6年度はウクライナ侵攻の長期化や中東情勢の緊迫化、第二次トランプ政権の発足により国際秩序や経済の先行きに対する不透明感が一層強まった。エネルギー・資源の供給不安や物価上昇が続く中、国内では人手不足や少子高齢化に加え、地震や豪雨など自然災害も相次ぎ、地域社会に深刻な影響を及ぼし、持続可能で強靱な社会の実現が一層求められる一年となった。

そのような中、当法人会においては、法人会の理念の核である「税のオピニオンリーダー」として、税知識の普及、納税意識の高揚など、税に関する活動に軸足を置きながら、地域社会の健全な発展に貢献することを目的に、次の事業を積極的に展開した。

【公益目的事業】

1. 税知識の普及と納税意識の高揚並びに税の提言に関する事業

(1) 税知識の普及を目的とする事業

① 年末調整説明会・新設法人説明会

令和4年度より当会で実施している年末調整説明会を、延岡、日向会場でそれぞれ実施した。定額減税導入の影響もあり両会場とも昨年度の2倍近い参加があった。

また、延岡税務署管内に新たに設立された法人を対象に新設法人説明会を開催した。

年末調整説明会：2回開催、新設法人説明会：1回開催

② 税務研修会

税についての様々な研修テーマを取り上げ、税に関する理解と知識を深めるため延岡税務署担当官や税理士を講師に招き、本部及び支部において、総会や理事会の機会等も捉えながら様々なテーマで税務研修会を開催した。

また、県連の顧問税理士の海野理香氏を講師に招いて、一般の市民にも広く案内し、「税金との上手な付き合い方」についての研修会を実施した。 9回開催

③ 租税教室

青年部の会員が講師となって、延岡税務署管内の小中学校6校において、租税教室を実施した。税金クイズや模擬選挙により、身近な税金の種類やその仕組みについて子どもたちから関心が持てるように工夫しながら分かりやすく説明を行った。

また、むかばき青少年自然の家で、小学生を対象にまちづくりワークと沢登りをを行い、自然の中で税金への学びを深めた。

さらに昨年に引き続き、税務署の協力の下、「Out Of キッザニア in のべおか」に参加し、税務署職員の職業体験として延べ23人の小学生が参加した。8回開催

④ 青年・女性部会税務研修会

延岡税務署管内の青年・女性経営者また一般市民を対象に、「法人税事例検討」等をテーマに取り上げ、税に関する理解と知識の向上を図るとともに、正しい税知識を身に付けることを目的に税務研修会を実施した。 5回開催

⑤ 税に関する絵はがきコンクール

子どもたちが税の役割と大切さを考え、自らの視点で表現することで、税に関する関心と理解を深めてもらうことを目的として、延岡税務署管内の主に小学校6年生を対象に絵はがきコンクールを実施した。管内20校から583点の応募があった。

また、11月の「税を考える週間」及び2～3月の「確定申告期間」に、絵ハガキコンクールの応募作品の展示を行った。また展示期間に市役所市民スペースで優秀作品の表彰式を実施した。これらの行事を当法人会HPや報道機関等を通じて広く一般市民にも案内し、展示作品を鑑賞してもらうことで、税金が私たちの暮らしを豊かにしていることへの理解と納税意識の高揚に努めた。

(2) 納税意識の高揚を目的とする事業

① HP並びに広報誌等による税情報の発信

当会の最新情報を随時公開したほか、確定申告特集、ダイレクト納付のお知らせ等税務機関情報を掲載した広報誌「せせらぎ」を年間2回発行した。そのほか全法連が発行する広報誌「ほうじん」を年間4回配布した。

(3) 税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業

① 税制改正の提言及び提言書を関係機関へ提出

中小企業の租税負担の軽減と合理・簡素化及び適正・公正公平な税制・税務に関する提言を行うため、当会としての要望事項を税制委員会において取りまとめて、（一社）宮崎県法人会連合会を通じて全法連に提出した。全法連においては「令和7年度税制改正の提言」を令和6年9月19日開催の理事会で決議し、9月30日付の日本経済新聞に意見広告として掲載するとともに10月3日開催の「第39回法人会全国大会鹿児島大会」において、報告・説明を行った。

当会では、全法連の「令和7年度税制改正の提言」を地元選出国會議員、延岡・日向市長及び延岡・日向市議會議長に提言を行うとともにHPや広報誌を通じて周知した。

② 全国青年の集い

全国の青年経営者が集い、税制・財政及び地域社会への健全な発展等、法人会の目的を達成するための情報交換、意見交換並びに議論を行う。今後の活動をより充実したものにする目的で開催され、福井市開催の第38回全国青年のつどいに、当会から6名が参加した。

③ 全国女性フォーラム

全国の女性経営者が集い、税制・財政及び地域社会への発展等、法人会の目的を達成するための情報交換、意見交換並びに議論を行う。今後の活動をより充実したものにする目的で開催され、広島市開催の第18回全国女性フォーラムに当会から2名の代表者が参加した。

2. 地域社会への貢献を目的とする事業

(1) 地域社会への貢献を目的とする事業

① 経済、経営等研修会及びセミナー、講演会事業

会員をはじめ広く一般の企業及び市民を対象に、経済、経営、複式簿記、接客、新入社員研修等をテーマにした講演、研修会を地域企業並びに地域社会の健全な発展に資する目的で開催し、多くの参加者があった。

また、当会のHPから人材育成や経営等の様々な約700種類のセミナー受講ができるオンデマンドサービスを提供し、年間を通じて多くの会員の利用があった。

② 献血運動

女性部では地域社会貢献活動の一環として、広く一般に呼びかけ、日赤と連携して10月と2月の2回、献血活動に取り組み、合わせて100名の献血協力があった。

③ いちごプロジェクト

全法連女性部会では、使用電力15%削減を目標に「いちごプロジェクト」と銘打ち節電の協力を呼び掛けている。当会女性部では節電啓発うちわ500枚を8月にイオン延岡店にて配布し、広く一般に節電協力を呼び掛けた。

④ 贈呈等

社会貢献活動の一環として、例年行っている地方公共団体及び社会福祉団体等に寄附・寄贈を行った。

令和5年度第35回大会より、親睦ゴルフ大会を「チャリティーゴルフ大会」とし、社会貢献活動の一環として寄付金活動を行い、収益金を活用して3支部の社会福祉協議会へ寄贈を行った。

【共益目的事業】

1. 会員の福利厚生に資する事業

(1) 福利厚生制度の推進

会員の福利厚生制度の推進のため、取り扱い保険会社3社との連携をより一層強化し円滑な運営と財政基盤の安定化を図るため、次の制度の推進に努めた。

- ① 経営者大型保障制度の普及推進を図った。
- ② ビジネスガードの普及推進を図った。
- ③ がん保険・医療保険の普及推進を図った。

2. 会員の交流に資するための事業

(1) 会員の交流を図るための事業

会員支援のためや、会員の輪を広げるために会員間の情報交換や相互の親睦を図ることを目的として、以下の事業を行う。

① 親睦チャリティゴルフ大会

会員交流と親睦を図るため「親睦チャリティゴルフ大会」を開催した。

開催日：令和6年10月12日（土） 開催地：北方ゴルフクラブ 参加者：31名

(2) 会員増強運動

会員数の減少傾向が続いており、組織の強化・充実を図るため、正副会長会議をはじめ理事会等において、新規会員の紹介及び未加入法人等の情報収集に努めるとともに、当法人への会員増強策に取り組んだ。

また公益活動の要となる青年部と女性部の会員についても特に増強に努めることで公益活動の活性化を図った。

II. 組織関係

1. 会員状況

宮崎県北 法人会	期首（4月1日）			増 減		期末（3月31日）		
	所管法人数	会員数	加入率	期中増	期中減	所管法人数	会員数	加入率
R6.3.31	3,873	1,412	36.5%	23	22	4,082	1,413	34.6%
R7.3.31	4,082	1,413	34.6%	27	38	4,132	1,402	33.9%

青年部会会員数 78名（昨年度74名）R7.3.31

	期首	増	減	期末
延岡支部青年部会	48	6	3	51
日向支部青年部会	26	1	0	27
計	74	7	3	78

女性部会会員数 18名（昨年度13名）R7.3.31

（公財）全国法人会総連合 R7.3.31

法人数	会員数	加入率
2,305,341社	697,854社	30.3%

（一社）宮崎県法人会連合会 R7.3.31

法人数	会員数	加入率
22,064社	5,773社	26.2%

3. (公社)宮崎県北法人会組織図 (令和5年4月1日現在)



